

牧野植物園

右城 猛

五台山にある高知県立牧野植物園は、高知が生んだ世界的植物学者・牧野富太郎博士の業績を顕彰するためにできた施設である。

牧野植物園では、今年の3月5日から7月3日の間、「志国高知・龍馬ふるさと博」の花の会場として「五台山花絵巻式の巻」を開催している。

平成22年4月24日に温室がリニューアルオープンしたが、それもまだ見ていなかったもので、5月5日の祭日を利用して鑑賞してきた。



牧野植物園の入口も花皿鉢で飾られていた。高知県の宴席では、大皿に鰹のタタキや刺身、寿司など色々な料理を盛り合わせ、皿鉢(さわち)料理として出す風習がある。花皿鉢は、皿鉢料理に見立てて、花を盛りつけたもの。園内には見事な花皿鉢が51皿置かれていた。



本館の中庭にも花皿鉢が並べられている。



展示館と50周年記念庭園・南園を結ぶ歩道脇に、ケラマツツジが満開になっていた。奄美大島から沖縄諸島に生える常緑低木。



不思議な植物はトビカズラ。中国に自生する。日本では熊本県の北部、菊鹿町の相良観音寺に一本生えているだけ。国の天然記念物。



白い花が満開のヒトツバダコ。表示板に、「長野県、岐阜県、愛知県の一部に自生する珍しい木で、名前が分からなかったのがナンジモンジャと呼ばれていた」と説明されていた。



50周年記念庭園・南園(フレンドシップガーデン)



カマヤマショウブ



庭園の中の花皿鉢



池に浮かぶ花皿鉢



牧野富太郎の像の周りを飾る赤い花



温室の中で、亜熱帯植物の茎に「花が咲いています」と書かれた札が掛かっていた。



バナナの花。茎に小さなバナナが生えていた。



タマゴノ木。卵のような実がなっている。



美しく不気味な「ヘリコニア」



温室の中の池



温室の中の滝



展示館の階段広場から外に出たところで、「ハンカチノキはこちらです」と書かれた標識が目に入った。「階段を降りて8歩、左側です」とまで書かれていたら、見ないわけにはいかない。



階段を降りて行くと、「ハンカチノキが咲きました」という看板があった。



看板の上に白い花が咲いていた。これがハンカチノキの花かと納得した。

牧野植物園のリニューアル後、初めて入園した。予想以上に見応えあるものになっていた。標識の説明文は、植物が苦手な者にでも興味をそそるように書かれており、学芸員の方の思いが伝わってきた。
(2011年5月5日記)